月刊セブンシーズ 堀越千秋 x 逢坂剛 対談

対談

スペイン在住の画家、堀越千秋氏と、 スペインを舞台とした小説『斜影はるかな国』などの著者、逢坂剛氏は、 フラメンコの熱狂的ファンとしても、ともに知られた存在である。 九月には東京、お茶の水カザルス・ホールにて、達坂氏のプロデュースによって、 日本人だけによるフラメンコのコンサートが企画され、 掘越氏はそこに歌い手として参加、 -ルでは逢坂氏もギターの腕前を披露した。



逢坂剛

ぐさまトレーニング・コーチのグループがつくられて、

一、二カ月の間つききりだったようです。その甲斐あっ

いなかったのは産婦人科だけだったという……(笑)。す

堀越千秋

てくれました (笑)。

ないけれど、ずいぶん気をつかって、自分で台所からど 逢坂 確かに、やたら愛想を振りまくようなタイプでは

ールをついで持ってきてくれたり、いろいろサービスし

堀越 私は逢ったことがないのですが、小柄な人なんじ

に待遇が良くて、向こうへついたとたん、あらゆる科の

医者が駆けつけて来て、検査を受けさせられたらしい。

堀越 向こうのコムニスタは、隠したりせずに、 きの作品のコレクションもなかなかなものでしたが、地 が、さすがという感じだったかな。 逢坂 家の中もあちこち見せてくれまして、寝室や、う 下の書庫にマルクス・エンゲルス全集が並んでいたの てくれました。ピカソやタピエスからもらった、献辞つ ちのリビングぐらいありそうなバスルームまで、公開し て、結構しまった体になっていました。 -インタビューはガデスの自宅でされたのですか。

逢坂 それがスペインのはっきりしたところですね。

うとしていますよね。

うです。というのも、彼は、コムニスタとして知られて いますが、キューバのカストロと親しいんです。さすが クすると決まってからキューバへ行って、鍛え直したよ 逢坂 いや、小柄といっても一七二、三センチはあるで しょう。引退後一時太ってしまったんですが、カムバッ やないですか?

聞いていたので、ちょっと心配したんですが……。 決心した経緯や、活動を再開した心境の変化などを聞き び活動を始めた天才フラメンコ・ダンサー、アントニオ・ 堀越 実際はどうでした? ビューもめったに受けないし、いわばマスコミ嫌いだと にいったわけです。ガデスは気むずかしい人で、インタ 逢坂 予定されている来日公演にからんで、一度引退を ガデスへのインタビューが主眼だったそうですね。 九九四年)にもスペインへ渡られていますが、今回は再 (司会・セブンシーズ) 逢坂さんは、この九月 (一 ということも考えられるわけですから(笑)。

ESPAÑA el país de ensueño

うというわけです。

堀越 スペインが現在かなり難しい状況になっているのも、その他の三百万人は小ストロを支持していても、残しスペインは逆に、百万人が政府を支持していても、残も、その他の三百万人はカストロを支持している。しかも、その他の三百万人ぐらいの不満分子がいるとしてキューバには百万人ぐらいの不満分子がいるとして

は確かだと思います。これは、やはりオリンピックと万

博が終わったあたりからの現象でしょう。開催中はお祭りムードがあったけれど、終わってみるとかなり反動がりムードがあったけれど、終わってみるとかなり反動が出てきた。いっぺんにオリンピックも万博も両方やっちやったんですからねえ。いらいらしているのがわかるんです。もちろん原因は失業者が多くて、税金が高くて、です。もちろん原因は失業者が多くて、税金が高くて、です。もちろん原因は失業者が多くて、税金が高くて、です。もちろん原因は失業者が多くて、税金が高くて、です。もちろん原因は失業者が多くて、税金が高くて、です。

じられなかった。

超ベテラン、健在なり

-フラメンコ・シーンはいかがでしたか?

「現越」ビエナール(二年に一度セピーリャで行われる、フラメンコ界最大のフェスティバル。一九八八年には堀フラメンコ界最大のフェスティバル。一九八八年には堀越氏も歌い手として招かれた)に行ってこられたんでしょう。その話を聞かせてください。 達坂 ビエナールは、結局一日だけ見にいったんです。 達坂 ビエナールは、結局一日だけ見にいったんです。 達坂 ビエナールは、結局一日だけ見にいったんです。 達坂 ビエナールは、結局一日だけ見にいったんです。 きっその歌い手が出演するやつでしてね、これは見逃せない。 見逃すと、次には死んでしまってもう見られない、 い。見逃すと、次には死んでしまってもう見られない、

客は何人か途中で帰ったようですけれど。
客は何人か途中で帰ったようですけれど。
ということでした。ただし、日本人のる人がなかった、ということでした。ただし、終わるのは広い劇場が、超満員とは言えないまでも、ほぼ満杯にな広い劇場が、超満員とは言えないまでも、ほぼ満杯にな広い劇場が、超満員とは言えないまでも、ほぼ満杯にな広い劇場が、超満員とは言えないまでも、まであれています。

堀越 そーれは、けしからん話ですね。

達坂 もっともその日は、あまり日本人が来ていなかったようなんです。いつもは、セピーリャばかりでなく、でドリッドからも大拳してやってきて、日本人が一番前でたばあさんです。いつもは、セピーリャばかりでなく、じいったばあさんの、いわばなつかしのメロディみたいなものだったので、パスしてしまったらしい。しかしこれは、のだったので、パスしてしまったらしい。しかしこれは、のだったので、パスしてしまったらしい。しかしこれは、あまり日本人が来ていなかった。フラメンコをやって、けいばあさんで、と思い込んでいるとしたら、それは考得るところはないと思い込んでいるとしたら、それは考え違いもはなはだしい。

堀越 似たような話で、先頃日本でも十六枚組のアントニオ・マイレーナ全集の、カンテ(歌)のすばらしいCコオ・マイレーナ全集の、カンテ(歌)のすばらしいC話です。だいたい、フラメンコの踊りの先生クラスの人が買わないというんです。生徒は推してしるべしだという。なんだか話が日本フラメンコ界の嘆きみたいになっう。なんだか話が日本フラメンコ界の嘆きみたいになった。なんだか話が日本フラメンコ界の嘆きみたいになった。

いという状況は変わらないようです。 からず多いんですね。外国人の中では、日本人が最も多逢坂 それでも、フラメンコをやりたがる人は、あいか

を反 舞台のようはなかなかでしたが、映画の「カルメー 助面の迫力としてはおもしろくても、そこにほんとうのは、い部分がある。 して考えるべきものなんです。あくまで映画ですから、

逢坂 舞台のほうはなかなかでしたが、映画の「カルメをせん。

堀越 彼自身は、もちろん古いフラメンコの歴史と深くど、それだけではないという自負があるんですね。 自分の踊りには、もちろんフラメンコの要素が入っているけれ定されることに、抵抗があると言っていますね。自分の踊りをフラメンコとして規

ックしたその理由は何だったんですか。――ガデスが、まだ若くして引退したのと、今回カムバ過ごしてしまうんですね。

つながっているんですが、それが表面的に見ていると見

建坂 彼には独特の美学があって、名声をたよりに年相応の踊りでごまかしていくのを、潔しとしなかったおけです。十年前から構想を温めていたのに、実現しないうちす。十年前から構想を温めていたのに、実現しないうちす。十年前から構想を温めていたのに、実現しないうちす。十年前から構想を温めていたのに、実現しないうちず、十年前から構想を温めていたのに、実現しないた面があった。それが三年の間に形になってきたので、再び挑あった。それが三年の間に形になってきたので、再び挑あった。それが三年の間に形になってきたので、再び挑めった。

うですね。――ガデスの舞台はかなりメッセージ性の強いもののよ

建筑 メッセージを前面に打ち出すというのも、もちろん間違いではないんですが、私にはちょっと抵抗があった。しかしガデスの話を聞くと、彼の表現したいことがよく分かって、納得できました。ただ、あまりに、プロた。しかしガデスの話を聞くと、彼の表現したいことがよりかって、納得できました。ただ、あまりにはがあった。もちろんではいるでしょうね。

ものはなかったでしょう?! 娘越 見にいかれた日のビエナールの舞台には、そんな

ッセージがあるわけはなく、とにかくフラメンコが好き逢坂(なにせ、じいさんやばあさんですから、そんなメ

すね。

チャノ・ロバートが、多分今年六十五歳ぐらいなんでチャノ・ロバートが、多分今年六十五歳ぐらいなんでしょうか、これがもっとも若手でして、いちばん年上が、ニーニャ・デ・ラ・プエブラといったところでしょうか。フェルナンダ、ベルナルダの姉妹も、もう七十歳を過ぎているでしょう。妹のほうは、体はかなり弱っているように見えましたが、妹が歌うときにそばで盛んにパルマひとつでしたが、妹が歌うときにそばで盛んにパルマひとつでしたが、妹が歌うときにそばで盛んにパルマいともお姉さんという感じで、好感をもちましたね。

りするじいさんのステージも、結構受けていた。 りするじいさんのステージも、結構受けていた。 第の仲である)ですよ。しわがれた声が特徴で、両手に もったふたつのビンを叩きながら歌ったりするんです。 もったふたつのビンを叩きながら歌ったりするんです。 それを、力あまってぶつけて割ってしまったりとか、け

建坂 みんな楽しみながらやっていて、手をひいてもらりないと歩けないような感じなのに、椅子に座ってギタリストが伴奏を弾きだすと、とても年とは思えない様子で歌い出す。それは結構感動的でしたね。それに観客も、スタンディング・オペーションで応える。日本は大拍手はしますけど、フラメンコで総立ちになるなんて、見たしますけど、フラメンコで総立ちになるなんて、見たしまがありません。

日本語で歌うフラメンコ

――九月のカザルス・ホールでのコンサートでは、堀越さんが歌った日本語のフラメンコが好評でした。「おとみさん」をフラメンコの節に乗せて歌ったり、逢坂さんやでん」をフラメンコの節に乗せて歌ったり、逢坂さんやこれ、屋子さんの新作の歌詞もあって楽しませていただきました。また、同時期にCDも発売されていますが、反ました。また、同時期にCDも発売されていますが、反響のほうはいかがですか。

六、七枚積んであったのが少しずつ減っていたのを見た堀越。 不思議なことに高田馬場の大きなレコード店に



カムバックしたアントニオ・ガテス氏と連接氏。マスコミ嫌いと世評のあったガテスだったが、来日が予定されていることもあって、連接氏との対談には、むしろ積極的に強んだ、機影: 高機算 photograph by Takahashi Noboru

逢坂(日本語でフラメンコを歌うということ自体は、前き上げられてしまったのかもしれないけど(笑)。 んです。この前もう一度見たらなくなっていました。引

からマドリッドでもやってたんでしょう?

ちゃったりはしていました。 おまえのかあちゃんどうし 城越 最初はスペイン語で、おまえのかあちゃんどうしたみたいなことを歌い合っていたんです。それ

逢坂(もともとスペイン人自身も、そうした他愛ないこ

城越 ええ、もともとそんなもんなんです。CDの話が場越 ええ、もともとそんなもんなんです。CDの話が出て、日本で打ち合わせをしている間に、阿佐ヶ谷の酒出て、日本で打ち合わせをしている間に、阿佐ヶ谷の酒

-日本語はフラメンコに合っているんでしょうか?

まする。 した深い曲調の歌)なんかは、うまく乗っていると思いした深い曲調の歌)なんかは、うまく乗っていると思い埋越。ソレア(フラメンコの母といわれる、ゆっくりと

逢坂 音の引き延ばしなんかも、日本語とスペイン語でくと違和感がなくなってくる。最初歌詞を見ながら歌っているときは、まだぎくしゃくしていたのが、聞き込んでいくとある時期、あ、これは入ってきたな、というのでいくとある時期、あ、これは入ってきたな、というのでいくとある時期、あ、これは入ってきたな、というのが分かるんだよね。しかしあのCDでは、その違和感がが分かるんだよね。しかしあのCDでは、その違和感がない(笑)。

のかが憑依するなんて言いますが……。 ――フラメンコの演奏では、うまくいくときは、なにも

それも録音されていることを忘れてやったほうがいい。ないと思いますね。フラメンコは基本的にはライブで、マイクに向かって歌っていると、なかなかそこまでいか逢坂 - ドゥエンデと呼ばれているんですが、スタジオで

ESPAÑA el país de ensueño

マドリッドの蝦越氏のアトリエにて。大阪での展覧会の画後でもあったので、アトリエに あった作品はすっかりかたづけられていたが、急遽一筆描いていただくことになった。

はなかなかないでしょう。 ただスペインでも、本当の意味でのライブ録音というの

年かかってつくっている。小さなタブラオで、バールも らったら、舞台の脇のカーテンの裏の棚の上に鏡やら化 兼ねて、そして小さなフィエスタもできるという空間に 堀越 お金がないので少しずつしか進まなくて、もう二 逢坂 それはかなり、迫力のある生活ですね(笑)。 粧用品をならべて自分の部屋にしている(笑)。 六の娘が自分は個室をもっているというので、見せても たら、舞台にマットレスをひいて寝ているんです。十五、 称してつくりつつある。君たちはどこで寝てるのと聞い 基本的にはバール(居酒屋)なんだけれど、ペーニャと 子供が全部で五人いて、それでペーニャをつくっている 娘が三十四歳かそこらになっていて、息子、娘あわせて 堀越 こないだヘレスにいったら、歌い手のアグヘタの したいというわけです。長男は、十三かそこらなんです んです。つまりフラメンコ愛好会みたいなものですが、

> はかなわないという感じはありますよね。 はりああいった環境で、小さい頃からやっている彼らに なんですが、それがまた踊りも結構うまいんですね。や る。椅子に腰掛けて足が宙にういているようなちびさん その下の四つぐらいの子供もファンダンゴを歌ったりす が、結構うまくギターを弾いて、自分でも歌うんです。

逢坂 ジプシーの味に、日本人の器用さが組み合わさる ど、神童と言われるだけあってかなりすごい腕なんだな。 出てきているんですが、これがまだ十歳ぐらいなんだけ しょうけど、マドリッドにラジートというギタリストが 性とジプシーの男性とかいった組み合わせで。ご存知で 堀越 それとハーフがかなりいるでしょう。日本人の女 んかは、現在十九歳ですが、始めたのは九歳ですからね。 は結構明るいんではないでしょうか。宮野ひろみさんな ちの年齢が、下がってきていることは確かですね。将来 逢坂 しかし日本でも、フラメンコに関わっている人た かなりのものになるんではないですかね。この方向

は期待できますね(笑)。

料理にはうるさいとお聞きしていますが……。 逢坂(私は特別、スペイン料理がないと困る、というわ はバスクの取材をお願いしましたが、逢坂さんもかなり ラメンコのほかに闘牛、そして料理ですね。堀越さんに スペインというと、固定観念かもしれませんが、フ

うのところでしょう。 スペインがなつかしくなって食べる、というのがほんと しかし生ハムだけは特別ですね。あれがスペインで、

けではないんです。たまに食べられればいい。ときどき、

おいしいけれどね。 堀越 もちろん日本のは、それはそれで違うものとして、 ころがあるけれど、やはり違いますね。 いちばん食べたいものかな。日本でも、つくっていると

ところは本物を使用しています。 や冷凍ものが多くなっているようですが、ちゃんとした 魚(アングーラス)かな。今はスペインでも、カンヅメ 逢坂 向こうでしか食べられないものといえば、鰻の稚 っちのほうが十倍値段が高いけれど、百倍旨い(笑)。 ベジョータとかハモン・ハブーゴとかいうんだけど、そ 豚があって、黒豚のはハモン・イベリコとかハモン・デ・ ハモン・セラーノというのですが、これには白豚と黒

ですね。まいったかと言わんばかりに、突然「あります」 うの親父がいきなり「あります」って叫ぶんだ。どうも ろうな、とか独り言のように言うと、カウンターの向こ こちらの顔を知っていたらしくて、耳を澄ましていたん 日本へのルートを開拓した人がいます。 ナダからかなり輸入しているようで、それでカナダから ようですね。スペインでも全部ではないでしょうが、カ さるスペイン料理店で、さすがにペルセベスはないだ ペルセベス(えぼし貝)は最近、日本にも入っている

あとは、堀越さんと行ったサラマンカの酒場で食べた、

は食べられなかった、珍味ですね。

って叫ぶもんだから、驚いた(笑)。あれは、昔の日本で

スペインで何を食べたか

すっと気が遠のくみたいな感じで、でもすぐに元にもど 感触で、食べるとなんだかしびれてくる。一口食べると、 のこで、オレンジ色をしていて、ちょっと粉っぽい変な 堀越 あそこではセタも食べたでしょう。 平べったいき

感じでしたね、いわく言いがたい気分だった。 逢坂 しびれるというか、歯の麻酔をしたあとみたいな

すね。あれはさすがに、日本では食べられないでしょう。 を小説で書いたんだけど、実はまだ食べたことがないん 逢坂 羊の目玉も旨いといいますね。それを食うシーン 何かかと思ったんだけど、ちょうどそんな感じのもので た料理で、最初食べた時は分からなくて、ふぐの白子か それと、羊の脳味噌も旨かった。ころもをつけて揚げ ほとんどおよびではないという感じですね。

後は跡形もなくなってしまう。 の歯と人間の歯が嚙み合ってすごいもんです。それで最 も割れやすくなってるんですね。顎のところなんか、羊 らむしゃぶりつくわけですよ。揚げてあるもんだから骨 頭蓋骨をバリバリ割って、それをどんどん床に捨てなが るんだろうけど、彼らはそうじゃない。スペイン人は、 堀越 そうです。日本だったらきれいに骨を残して食べ 一羊の脳味噌は頭蓋骨ごと出てくるのですか?

逢坂 向こうでは高価なものなんでしょう?

理です。床にどんどん捨てながらむしゃぶりつくわけだ は出てこない料理で、バールでつまみとして出てくる料 堀越 ええ、結構高いんです。ただし高級レストランで

スペイン人気質への本音

るようですね。そのほかスペイン人気質みたいなものは いかがでしょうか。最近急に変化したなんて部分はある --そういった食べ物というものは、やはり国民性が出

あいったものは、今のスペイン人とどこか共通していま 騙す女房とか、極端な人物がいろいろ出てきますが、あ 堀越 昔話の本には、頭のおかしい司祭だとか、亭主を

的な部分。それもアラブ的、と言えるのかどうか分から

たりしたけど、なるべく見つからないようにするでしょ

る。まったく恬として恥じるところがない。うちの女房 に、袋をかついで部屋にもっていくんですね。しかも、 堂々と、アラーの神のお許しを得たとでも言わんばかり 気にしない、少しもこそこそなんかしないんですよ。 りしたまま見守っている。しかしアラブ人は人目なんか

もそのとき、ジャムの小さなビンをハンドバッグに入れ しばらくするともどってきて、自分の分をちゃんと食べ

に思いますね。その点は日本人も同じでしょう。

俺のものだ、やなものはやだという感じで、もうこうな 俺の席だからのいてくれと言うと、いやだといって頑と 分の席に先に座っているスペイン人がいるんで、そこは ン人は今も結構いるんです。指定券が必要な列車で、自 体質と通じていますよね。 ったら何の理屈もないんだな。これはどこかアラブ的な してのかない。何度説明しても駄目で、座ったんだから

逢坂 日本人にとっては変ちくりんなんだけど、彼らに

ィはやはり日本人にはわからない部分です。 くら言っても、絶対に返さない。こういったメンタリテ これは決して返さない。だって一日少ないんだからとい 二日だけしか泊まらなくて、一日分返してくれというと ったのではじめに三日分払うとするでしょう。でも結局

この夏(一九九四年)、家族とイギリスへ行って、「超」

なにせ現職の警視総監が何億ペセタも横領して現在逃

ズとかを、がさごさ入れはじめた。

にただ見ている。ウエイターやウエイトレスも、びっく

ホテルのマネージャーは呆気にとられて、何も言えず

な男がやってきて、部屋から持ってきたランドリー用の

大きなビニール袋に、クロワッサンとかリンゴとかチー を食べていたら、アラブの民族衣装を着た石油王みたい きの話なんですが、ビュッフェでセルフサービスの朝食 はつかないけれど、まずまず一流のホテルに泊まったと

逢坂 そういったところはあるでしょうね、非常に刹那 れるまでは刺されないんだから(笑)……。 逢坂 生活が変わるから、一見変わったように見えてま ようなことをしているんです。笑っちゃいますよ。 る人物が現在のスペイン人と同じような顔をして、同じ んある小さなゴヤの油絵なんか見ていると、描かれてい マドリッドのラサロ・ガルディアーノ美術館にたくさ

堀越 時代錯誤というか、べらぼうなことを言うスペイ

堀越 たとえば、ペンションに泊まって、三日の予定だ とっては少しも変ではないんでしょう。

ピューッととぶときのことを明瞭に考えたら、恐くてあ んなまねはできない。それと同じですよ。つまり、刺さ 逢坂 彼らはばれた時のことは考えないのかな? す。万が一にも日銀総裁がそういったことをするかどう 亡中だったりするんです。スペイン銀行の頭取も同じで 闘牛なんかできないでしょう。闘牛で牛に刺されて血が 堀越 考えないんですねえ。そうでなければ、たとえば か考えてみれば分かるでしょう。

すが、民族性みたいな部分は、全然変わっていないよう

連坂廟(〇saka Gō): 1943年東京生まれ、中央大学法学部卒業。小説家。1987 年、第98回画木賞、第40回日本推理作家 協会賞受賞、ほか。著書に「カティスの 赤い星」(旗松社)、「百5の叫ぶ夜」(集 英社)、「斜影はるかな国」(朝日新聞社)、 「いずばにあ万華娘」(対談集/パセオ)、 かど名数。

ESPAÑA el país de ensueño





堀越千秋カンテ(歌)、達坂 剛プロデュースによるCD 「望郷のソレアーカンテ・ フラメンコ・デル・ハポン」 (BMGビクター)。

掲越千教(Horikoshi Chlaki): 1948 年東京生まれ、東京芸術大学油画科卒業、 同大学院修了、1976年スペイン政府給費 留学生として返売。1980年以下マレット、東京など各地で個展開催。著書に、 大型絵本「マイトレーヤの散歩(探空社)、 長か、月刊『代セオ』(代セオ、人の大り、月刊『母 の友」(福音館書店)にエッセイを連載中。



らが村のマリア様」を大事にするという感じなんでしょ 堀越 基本的には、「おらが村」なんだと思うんです。「お すごいことですね。

だったりする。 てみると二、三十キロ離れた町に、買い物に行っただけ う話も聞きますね。最近大旅行をした、と言うんで聞い 逢坂 スペインには、ひとつの村に何十年住んでいても 歩も村から出たことがない、なんて人が結構いるとい

それこそ旅行するとなると、家族でぞろぞろ出かけてい 堀越 その点、ジプシー連中はちょっと変わっていて、

隣のことはとりあえず悪く言うんですよ。セビーリャは と「ださいのはサンタンデールの奴等だ」と悪口を言う。 が豊かで、それはいいんだけど、たとえばバスクに行く

「セビーリャはいいところだよ、セビーリャの奴等がい ヘレスを悪く言うし、ヘレスはセビーリャを悪く言う。 てしまったものですね (笑)。スペインの人たちは地方色 堀越 それはしかし、ずいぶんとドラマティックに知っ しかし、それにしては量が多い(笑)。国民性の違いとい

ースペインのジプシーには、まだ定住していない人た

堀越 いや、ほとんどは定住しているはずです。でもな かなか以前の放浪の癖が抜けないのか、簡単に引っ越し

れた歴史があるから、普通なら同化され、平均化されて 拠していたからかな。スペインは結構、他民族に占領さ 逢坂 なぜそうなったか不思議ですね。その昔、群雄割

家の中でロバを飼ったり、焚き火をしたりして大変なこ 住み方は以前のバラックのころと変えないものだから、 こに住めというわけです。そこまでは良かったんだけど、 壊して、市がアパートを建てたわけです。これからはこ 堀越 アンダルシアで、ジプシーたちのバラックを取り

(笑)。 逢坂 やはりたいへんな国ですね、スペインという国は

まう」とぼやいている、という話を聞いたことがある。 ルシアの連中が飲んだり歌ったりして、みんな使ってし ですね。バスクの人が、「我々が稼いだ金を、南のアンダ 南の人たちはやはりどこか、享楽的なところがあるよう 逢坂 北のほうの住人は、概して勤勉でストイックで、 いせいでしょうか。 色や県民性を色濃く保っているというのは、ある意味で しまっても不思議はないんだけど、それでなおかつ地方 堀越 フランコもキューバのカストロの先担も旧ソ連の

習慣から女性を人前に出せないので、その分を持って帰

ついで持っていく。実は奥さんが部屋にいて、アラブの ったんだと、好意的な解釈をすることもできますがね。

恥ずかしいから。だけどそのアラブ人は、堂々とか

ちも多いのですか。

うことでしょうね。 逢坂 土地とか家とかいったものに、執着心がないとい てしまったりはするようです。

とになっていった……。

え方が違うとも聞きますが、やはり風土的な変化が大き ――スペインの人たちは地域によってずいぶん性格や考

> が、やはり寒いと勤勉でストイックになるというのはあ 逢坂 バスクはどんなイメージですか。アンダルシアの しかし自然は豊かだけれど、雨や曇りの日が多くて寂し るんでしょう。北のほうは一種独特の気分があります。 ゴルバチョフの先祖も北のガリシア地方の出身なんです いところが多いですね。

うようですが。 ように、白壁と赤っぽい屋根が続く風景とは、かなり違

テロリスト)を除けば治安もいたって良好です。 堀越 石造りの堅牢な建物が並んでいて、バスクはむし いですし、生活も豊かです。ETA(バスクの民族主義 ろスイスというイメージですね。

田舎へ行ってもこぎれ

る (笑)。 まると必ずエビフライと、手羽先なんかが出てきたりす がスペインのいいところですよね。日本では、どこへ行 っても変わらないでしょう。風景もそうだし、旅館に泊 ってるんです。行くたびに新しい発見がある、というの ところのほうがはるかに多いので、まだまだ楽しみが残 れど、特定の町はよく知っていても、行ったことのない 逢坂 スペインとは、二十年以上の永い付き合いですけ

くんです。さりげない写真一枚でそれがわかる。こんな を見るとするでしょう。すると、そこにほんの少し写っ 堀越 たとえば、スペインで誰かの撮ったスナップ写真 とじゃないかと思いますね。 ところは、さすがに地方色豊かなスペインならではのこ かで、これがどの地方で撮ったものかだいたい検討がつ ている、背景の街並みだとか、家、空、石畳の様子なん

坂・堀越両氏も参加するパーティなどが催される。詳し を開始する。長編小説「百舌の叫ぶ夜」の続編のような る。なお、アントニオ・ガデスの日本公演に伴って、逢 照)。また、読売新聞の日曜版でイラストの連載を開始す ●逢坂氏は九五年二月から『週刊ポスト』で小説の連載 くは一四○頁「クラブボード」をご覧ください。◆ ものになるらしい。挿画は堀越氏が担当する。堀越氏は、 月に新宿三越で展覧会が企画されている(一六七頁参